

社会人として責任を果たし大きく飛躍を

平成15年町成人式



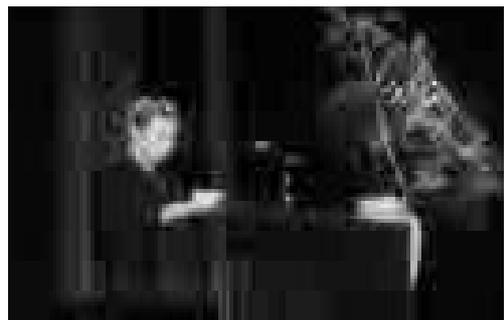
1月3日、町改善センターで成人式が開催され、本町出身者など59名が晴れて成人の仲間入りをしました。

今年の成人式は、昭和57年4月2日から昭和58年4月1日までに生まれた方が対象で、当日は初々しいスーツや晴れ着を着た50名が出席しました。

式では山口町長が「本日、大人の仲間入りという人生の節目にあたり、新しい希望と決意で力強い一歩を踏み出されることを心強く思います。今後とも今日の新成人としての感激を忘れず、人生の新しい出発点としての心構えを持ち、常に初心に返って研鑽けんさんに励まれることを期待します。」と式辞を述べました。

その後、出席者全員でローソクの火を分け合う「ともし火のつどい」がおこなわれ、助役の持つ親火から次々と分火され場内がローソクの火でいっぱいになるとおごそかな雰囲気に参加者も感激した様子でした。

最後に新成人を代表して水口翔太さんが「両親、先生方、地域の方々に見守られる中、仲間とともに成人式を迎えることができうれしく思います。誰かの敷いたレールの上を歩くのではなく『自分の道は自分で切り開いていきたい。』今はそういう気持ちでいっぱいです。」と力強い抱負を述べると会場からは激励の拍手が送られていました。



◀「新成人の決意」を発表する水口翔太さん